

提言書案

資料3

2018.5.31

2018年6月4日

町田市長 石 阪 丈 一 様

町田市公共施設再編計画策定検討委員会
委員長 市 川 宏 雄

「町田市公共施設再編計画」の策定にあたって（提言）

町田市公共施設再編計画策定検討委員会では、2016年11月の設置以来、12回にわたり、公共施設の再編に関する議論を行ってきました。町田市公共施設再編計画（以下、再編計画という。）の策定にあたり、下記のとおり提言しますので、今後の市政運営において、十分留意くださるようお願いいたします。

記

1 市民と行政との情報共有を進めること

「みんなでつくる未来の場（かたち）」の実現に向けて、公共施設再編に関する市民の関心を高めるための十分な周知とみんなで考える機会を設けること。また、取組みを進めるためには、建物の維持や運営に係るコストや利用実態などのデータを共有するとともに、より市民の理解が得られるような情報の提供に努め、みんなで議論しやすい状況の創出に努めること。

2 将来を見据えた再編を進めること

市は、これから目指す都市像やまちづくり計画などを市民と共有し、市民生活の変化など将来を見据えた再編を実行すること。

3 官民連携、市民対話による市民主体の課題解決を目指すこと

施設利用者や近隣住民に限らず、将来を担う若年層、実践者のアイデア、民間事業者の提案等を活かし、納税者である市民との対話を段階的に行うこと。また、行政は制約・条件だけでなく、複数の選択肢を提案するなどし、市民が主体的な課題解決に関与し、行動できる環境づくりを目指すこと。

- 4 着実に施設マネジメントが進められる組織体制を構築すること
公共施設再編の実現には、市民ニーズ、地域資源や特性を取組みの実践につなげることが重要となるため、これらを担う職員の育成に力を入れること。
また、庁内外の調整や自治体間連携を含めた行動により、スピード感をもって着実な取組みが進められる組織体制を構築すること。

- 5 社会状況の変化に対応できるよう、計画を定期的に検証すること
再編計画は、市の全体最適の観点を常に意識し、中長期的な取組みを前向きに進めるため、社会状況の変化に応じ、第三者の助言を受けるなど、定期的な検証を行い、「より良いかたち」を追求すること。

以上